

大分県医労連ニュース

大分県医療労働組合連合会（大分県医労連）

平成 22 年 6 月 21 日発行

〒874-0938 大分県別府市末広町 6-27 ミッドビル2B

Tel : 0977-23-7762 (直通) 0977-75-7556 Fax : 0977-75-7560

E-mail : irouren3984@bloom.ocn.ne.jp ホームページ : <http://oita-irouren.net/>

詩人の

アーサー・ビナードさん大分に!

第 56 回大分県母親大会が 6 月 13 日(日)コンパルホールで行われました。詩人のアーサー・ビナードさんは、昨年「9 条の会別府セミナー」で講演をし、是非もう一度聞きたいという声が多く、今回「母たちが持っていた勇氣」についての記念講演となり約 320 名が参加しました。大分県医労連から西別府支部 3 名、新別府支部 1 名、宇佐病院労組 6 名、山本病院労組 2 名、大分健生病院労組 20 名、書記局 1 名の計 33 名という沢山の参加がありました。午後からは 9 分野で分散会が行われ、中でも「働くものの権利」大分健生病院榑原院長の“メンタルヘルスを考える健康で働き続けられるために”では、定員 18 名のところ 38 名が参加しうつ病に関するアンケートをしながら深刻なうつ病について議論されました。

進全国交流集



田中 千恵子

日本医労連中央執行委員長

毎日新聞社から毎週月曜日発行している 6 月 15 日号の「EJ」ノミスト」のインタビュで医労連田中千恵子中央執行委員長が“闘う白衣の天使”と紹介されました。「人出不足で疲れ切った看護師に良い看護はできない」、医療崩壊の原因の 1 つは看護師の絶対的不足です。人出不足から過重労働になり、過重労働だから辞める人が増え、毎年 1 割以上が辞めて行く大きな問題です。そんな中で、労働環境を改善するための法制定が必要と言つ声もあり努力するが、今も看護師の

「人出不足で疲れ切った看護師に良い看護はできない」



小さな力から大きな力へ

労働実態は厳しいままと述べていました。本部に行った美馬さんは、先日行われた九州女性集会で、「医療現場にいると自分たちの活動の意味が見えてこないが、本部にいると見えてくる」と述べていました。やはりこの問題を解決するには現場のみならず一人ひとりの声が大切で、小さな力から大きな力に変える時が来たのでは・・・!

by RT

労働組合とはなんぞや?

⑥

労働組合 3 つの権利の一つで「団体交渉権」があります。各単組で、団体交渉が行われているところもあります。

ベースアップ・年休の日数を増やしてなどの要求です。ベースアップもなかなか要求通りの回答までは得られていませんが、多少でもベースアップもあり、年休も増えているのも事実です。見えないところで、組合員たちは頑張っているのです。「組合活動って何しているの?」「組合に入らなくても変わらない」という方もいるでしょう。それは組合員が自分のことだけではなく、周りを見ながら努力をし、いつか大きな力になると信じて、「誰もが働きやすい職場で定年まで働きたい」という思いを大切に日々努力し、見えない地道な活動をしているからです。でもその見えない活動も大きな「力」なんです。

期待した鳩山政権に裏切られ、菅政権に交代した今、本当に私達が期待した将来になるのでしょうか・・・?

過去の先輩たちが勝ち取った権利のお陰で現在恵まれた環境にいます。しかしそれがいつまで続けられるのでしょうか・・・?

この政治も職場も私達一人一人の声が最も大切です! 何もしないで愚痴だけこぼしているだけでいいのでしょうか・・・